

2025 年 6 月 5 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

「O K B 景況指数」 2025 年 6 月期調査報告

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 小川 真二）は、3 カ月ごとに「O K B 景況指数」を公表しております。このたび、2025 年 6 月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気全般は▲12.7（前回比▲3.9）と 5 期連続で低下。トランプ関税を巡る先行き不透明感から愛知県を中心に設備投資が弱含み。雇用は緩和傾向も依然高水準で「不足」超。
景気の方角	3 カ月後の景気は悪化を見込む。トランプ関税の影響で自動車産業を中心とする地域経済に悪影響が及ぶとの見方が多い。
追加調査	「トランプ関税政策による影響」として、『企業の警戒感が高まっている』と答えた支店長は 81.0%。『輸出減への懸念が高まっている』は 53.6%、『調達・物流の不安が課題となりつつある』の回答は 65.5%にのぼり、今後の関税政策による地域経済への影響を懸念する声は 91.7%に達した。一方で、現時点の相談や動きは一部にとどまっている。

O K B 景況指数 とは・・・

O K B 大垣共立銀行の支店長を対象に 3 カ月ごとに調査を実施
東海 3 県にある O K B 大垣共立銀行の支店長を調査対象 としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を 総合的に 捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。
県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計
「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、 県域より狭い地域の景気水準を表す指標 を公表している。 (注) 東海 3 県の当該県域全体を対象としない(O K B 大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：O K B 総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

地域の景況を見る

OKB景況指数（2025年6月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（107名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2025年5月上旬に調査票を配付し、5月下旬までに回収

調査結果

景気的水準：	景気全般は▲12.7（前回比▲3.9）と5期連続で低下。トランプ関税を巡る先行き不透明感から愛知県を中心に設備投資が弱含み。雇用は緩和傾向も依然高水準で「不足」超。
景気の方	3ヵ月後の景気は悪化を見込む。トランプ関税の影響で自動車産業を中心とする地域経済に悪影響が及ぶとの見方が多い。

	景気的水準(2025年6月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	・景気全般は▲12.7（前回比▲3.9）と5期連続で低下。 （支店長コメント） トランプ関税の直接的な影響はまだ出てきていないが、将来的に影響が及ぶことを懸念している企業は多い。コメなどの食品、電気・ガス・ガソリンなどの価格高騰が続いており、節約意識は高い。	・▲34.6と「悪化」超
県別	・愛知県は▲12.7（前回比▲5.7）、岐阜県は▲11.3（同▲1.5）と、両県ともに前回から低下。 （支店長コメント） ・愛知県では、米トランプ政権の関税政策で製造業を中心に企業業績は先細りが懸念されており、景気後退局面に入る可能性もある。設備投資に対する慎重な姿勢や受注の先行き悪化懸念が出ている。 ・岐阜県では、トランプ関税について、現段階で直接的な影響は見られないが、今後において警戒感を強めている企業は多い。航空機産業に関しては防衛予算の拡大により需要は継続。トランプ関税の影響が今後どのように出てくるかは不透明であるが、米国の航空機産業は日本への依存度が高く、他産業ほどの影響はないと予想。	・愛知県は▲39.4と「悪化」超 ・岐阜県は▲31.0と「悪化」超
地域別	・東尾張、岐阜など3地域で前回から上昇。一方、三河、西濃など6地域で前回から低下。 （支店長コメント） 【三河地域】 地域の中心産業である自動車部品製造業を中心にトランプ関税への不安が膨らんでいる。現時点で大きな影響は無いが、将来的に悪影響が出てくる可能性が高いと考えている企業が多い。 【西濃地域】 自動車部品等製造業は、トランプ関税について直接的な影響はまだない。受注先からの指示待ち等、楽観視はできずに身動きが取れない状況が続いている。コメの価格高騰や全般的な物価高が消費意欲を減少させている。	・「悪化」超 全地域
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、全ての項目が前回から低下。特に愛知県では「設備投資」が▲19.0（前回比▲17.6）と大幅低下。 （支店長コメント） 「個人消費」：長引く物価高や所得の伸び悩みにより節約志向が続いている。スーパーにおいて購買点数や品目の変化あり。総菜類やレトルトカレーや丼の素などコメ関連商品の販売が減少する一方でパスタ関連商品の販売が増加。 「生産活動」：自動車関連では元請け企業と入念に打ち合わせを行い年計に近い水準の生産の維持を目指しているも、個別の部品や車種における生産ライン停止が頻繁に発生しており、計画通りに生産できない状況が継続。トランプ関税の影響で設備更新、メンテナンスを抑制しており、生産製品の選別が行われる可能性もある。 「設備投資」：米トランプ政権の関税政策など先行きが不透明であり、設備投資については慎重な印象。しかし、人手不足に対応する機械化などのシステムなどについては導入を検討する動きがある。 「企業収益」：自動車関連企業中心に受注動向は依然好調であり、企業業績は好調。一方、賃上げを継続実施している中で、トランプ関税の影響が具体化し、受注量減少、受注単価見直しの動きとなれば企業収益に与える影響は大きい。 「雇用」：建設、土木、運送、介護、医療では慢性的な人手不足。建設、土木、運送は業績堅調であることから待遇改善で確保可能。介護、医療は人件費を上げることができず、業界として厳しくなっており人材確保に苦慮している。	・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」…調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」…景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2025年6月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲13.2 (▲5.3) ↓	▲23.7 (▲23.7) ↓	0.0 (▲2.6) ↓	▲7.9 (▲7.9) ↓	▲5.3 (+2.6) ↑	▲5.3 (▲13.2) ↓	73.7 (+2.6) ↑
東尾張	▲9.6 (+1.5) ↑	▲3.8 (+7.3) ↑	▲1.9 (▲0.1) ↓	▲3.8 (▲5.7) ↓	▲11.5 (▲15.2) ↓	▲5.8 (▲15.0) ↓	50.0 (▲11.1) ↓
西尾張	▲6.7 (▲10.0) ↓	▲16.7 (▲10.0) ↓	▲20.0 (▲23.3) ↓	▲46.7 (▲36.7) ↓	▲3.3 (+13.3) ↑	▲20.0 (▲6.7) ↓	63.3 (▲16.7) ↓
三河	▲27.3 (▲18.2) ↓	▲18.2 (▲31.8) ↓	0.0 (+9.1) ↑	▲36.4 (▲36.4) ↓	▲27.3 (▲18.2) ↓	▲18.2 (▲27.3) ↓	77.3 (+4.5) ↑
岐阜	▲9.5 (+1.1) ↑	▲12.2 (▲5.6) ↓	4.1 (▲3.8) ↓	▲4.1 (+3.8) ↑	▲6.8 (▲2.8) ↓	▲16.2 (▲12.3) ↓	60.8 (▲5.0) ↓
西濃	▲10.9 (▲6.9) ↓	▲34.8 (▲2.8) ↓	▲2.2 (+1.8) ↑	▲8.7 (+3.3) ↑	▲15.2 (▲11.2) ↓	▲26.1 (▲6.1) ↓	56.5 (▲25.5) ↓
東濃・可茂	▲22.5 (▲5.0) ↓	▲17.5 (+5.0) ↑	▲17.5 (+2.5) ↑	▲22.5 (▲7.5) ↓	▲20.0 (+5.0) ↑	▲27.5 (+7.5) ↑	50.0 (▲15.0) ↓
飛騨・郡上	25.0 (+25.0) ↑	▲25.0 (0.0) ⇐	0.0 (+25.0) ↑	25.0 (0.0) ⇐	25.0 (+25.0) ↑	0.0 (▲25.0) ↓	75.0 (▲25.0) ↓
桑名・四日市	▲28.6 (▲14.3) ↓	▲21.4 (+21.4) ↑	▲28.6 (▲28.6) ↓	14.3 (+28.6) ↑	0.0 (+28.6) ↑	▲14.3 (0.0) ⇐	64.3 (0.0) ⇐
愛知県(4地域)	▲12.7 (▲5.7) ↓	▲14.1 (▲10.6) ↓	▲4.9 (▲4.2) ↓	▲19.0 (▲17.6) ↓	▲10.6 (▲5.0) ↓	▲10.6 (▲14.7) ↓	63.4 (▲6.1) ↓
岐阜県(4地域)	▲11.3 (▲1.5) ↓	▲20.2 (▲1.8) ↓	▲3.0 (+0.5) ↑	▲8.3 (+0.9) ↑	▲10.7 (▲2.1) ↓	▲20.8 (▲6.5) ↓	57.7 (▲14.1) ↓
三重(1地域)	▲28.6 (▲14.3) ↓	▲21.4 (+21.4) ↑	▲28.6 (▲28.6) ↓	14.3 (+28.6) ↑	0.0 (+28.6) ↑	▲14.3 (0.0) ⇐	64.3 (0.0) ⇐
全地域	▲12.7 (▲3.9) ↓	▲17.6 (▲4.6) ↓	▲4.9 (▲2.8) ↓	▲12.0 (▲6.0) ↓	▲10.2 (▲2.1) ↓	▲16.0 (▲9.7) ↓	60.5 (▲10.0) ↓

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与してうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 雇用は「不足ー過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2025年9月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」ー「悪化」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「不足」ー「過剰」
名古屋	▲31.6 ↓	▲10.5 ↓	▲36.8 ↓	▲5.3 ↓	▲52.6 ↓	5.3 ↑	15.8 ↑
東尾張	▲30.8 ↓	▲15.4 ↓	▲7.7 ↓	▲7.7 ↓	▲26.9 ↓	0.0 ⇐	15.4 ↑
西尾張	▲53.3 ↓	▲20.0 ↓	▲13.3 ↓	▲53.3 ↓	▲46.7 ↓	▲33.3 ↓	33.3 ↑
三河	▲54.5 ↓	▲18.2 ↓	▲36.4 ↓	▲18.2 ↓	▲72.7 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐
岐阜	▲24.3 ↓	▲8.1 ↓	▲16.2 ↓	▲10.8 ↓	▲29.7 ↓	0.0 ⇐	16.2 ↑
西濃	▲43.5 ↓	▲8.7 ↓	▲47.8 ↓	▲4.3 ↓	▲26.1 ↓	4.3 ↑	17.4 ↑
東濃・可茂	▲25.0 ↓	▲10.0 ↓	▲25.0 ↓	▲20.0 ↓	▲25.0 ↓	0.0 ⇐	30.0 ↑
飛騨・郡上	▲50.0 ↓	0.0 ⇐	▲50.0 ↓	0.0 ⇐	▲50.0 ↓	0.0 ⇐	50.0 ↑
桑名・四日市	▲28.6 ↓	▲28.6 ↓	▲28.6 ↓	▲28.6 ↓	▲42.9 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐
愛知県(4地域)	▲39.4 ↓	▲15.5 ↓	▲21.1 ↓	▲18.3 ↓	▲45.1 ↓	▲5.6 ↓	16.9 ↑
岐阜県(4地域)	▲31.0 ↓	▲8.3 ↓	▲28.6 ↓	▲10.7 ↓	▲28.6 ↓	1.2 ↑	21.4 ↑
三重(1地域)	▲28.6 ↓	▲28.6 ↓	▲28.6 ↓	▲28.6 ↓	▲42.9 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐
全地域	▲34.6 ↓	▲12.3 ↓	▲25.3 ↓	▲14.8 ↓	▲36.4 ↓	▲1.9 ↓	18.5 ↑

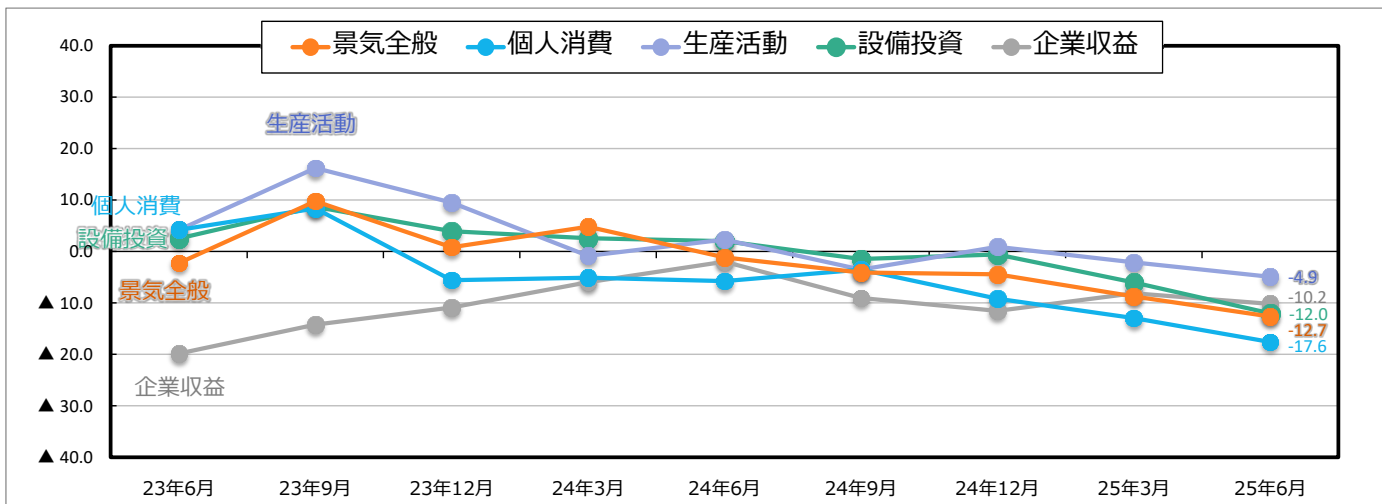
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%)ー「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%)ー「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

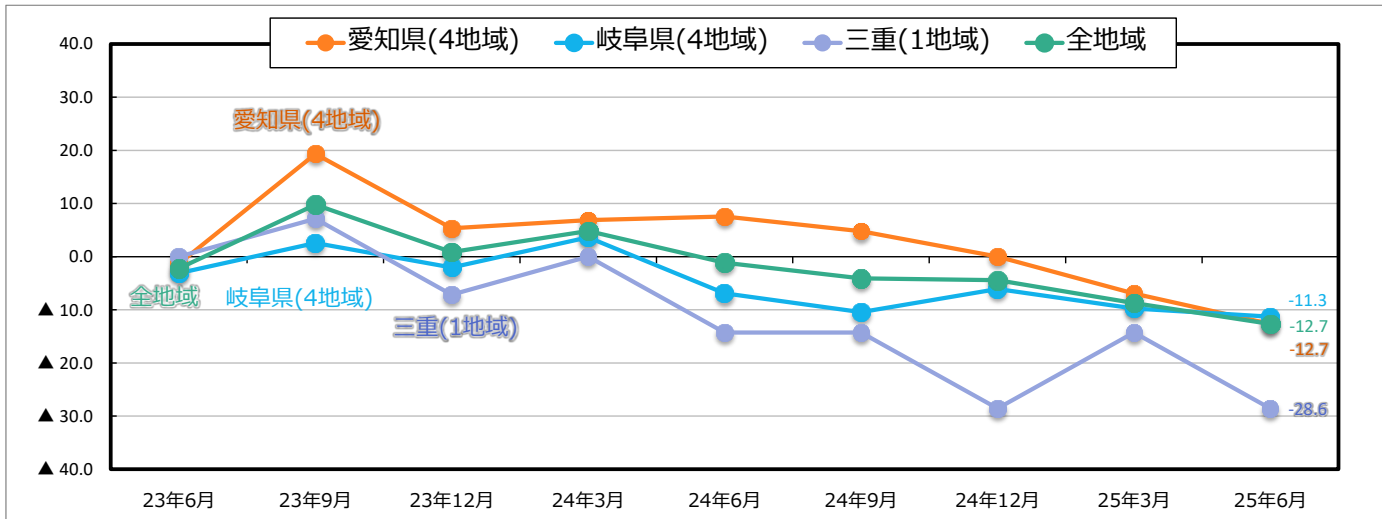
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

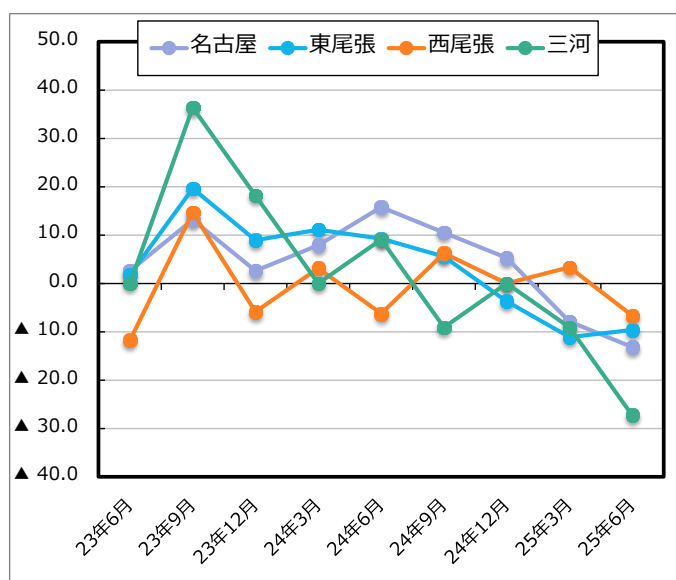


■県別（景気全般）

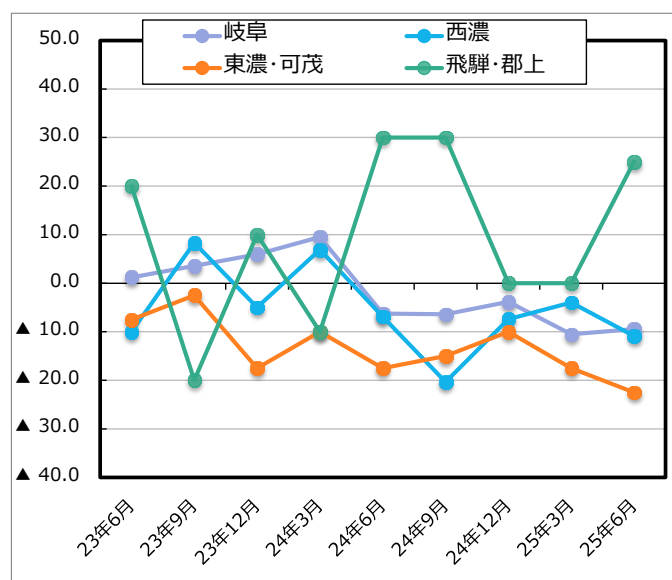


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査 1

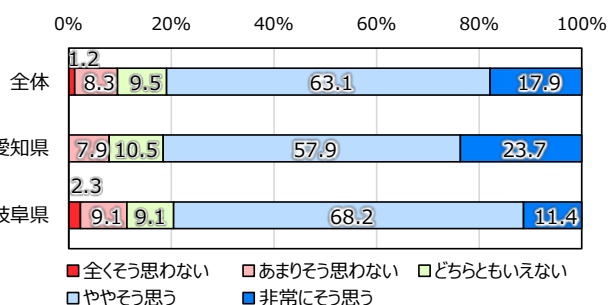
「トランプ関税政策の影響」

追加調査「トランプ関税政策の影響」では、各支店長に支店エリア内企業への影響について尋ねた。

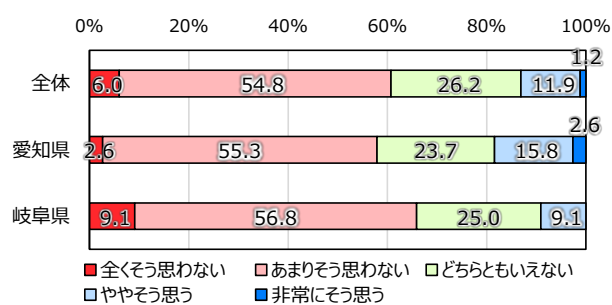
『企業の警戒感が高まっている』と答えた支店長は 81.0%。『輸出減への懸念が高まっている』は 53.6%、『調達・物流の不安が課題となりつつある』の回答は 65.5%にのぼり、今後の関税政策による地域経済への影響を懸念する声は 91.7%に達した。一方で、現時点の相談や動きは一部にとどまっている。

- ① 「トランプ関税政策に対し、取引先企業の間で警戒感が高まっている」については、「ややそう思う」63.1%、「非常にそう思う」17.9%と、8 割以上が警戒感が高まっていると回答した。特に愛知県では「非常にそう思う」が 23.7%と高く、強い懸念がうかがえる。
- ② 「関税の影響を受ける業種から仕入価格や資金繰りの相談が増えている」については、「ややそう思う」11.9%、「非常にそう思う」1.2%と、現時点での相談件数は限定的。54.8%が「あまりそう思わない」と回答しており、広がりは見られていない。
- ③ 「調達先の見直しや経営戦略の再検討の動きが出てきている」については、「ややそう思う」が 16.7%にとどまり、「どちらともいえない」33.3%、「あまりそう思わない」46.4%と、顕著な動きには至っていない。
- ④ 「米国向け輸出製品の受注・売上減少への懸念が高まっている」については、「ややそう思う」39.3%、「非常にそう思う」14.3%と半数超が懸念を抱いており、愛知県では「非常にそう思う」が 23.7%と高い水準となった。
- ⑤ 「米中貿易摩擦など国際情勢の変化により、調達コストや物流の不安が課題となりつつある」については、「ややそう思う」56.0%、「非常にそう思う」9.5%と、企業の仕入れや流通に対する不安が広がっている。
- ⑥ 「今後のトランプ関税政策や国際情勢の変化は、地域経済に影響する懸念がある」については、「ややそう思う」63.1%、「非常にそう思う」28.6%と、9 割以上が地域経済への影響を懸念しており、波及リスクが高まっている。
- ⑦ 影響が想定される業種としては、「輸送用機械器具製造業」が 75.0%となるなど、輸出依存度の高い製造業や海外との取引が多い卸売業で影響が強く認識されており、今後の動向に注視が必要である。

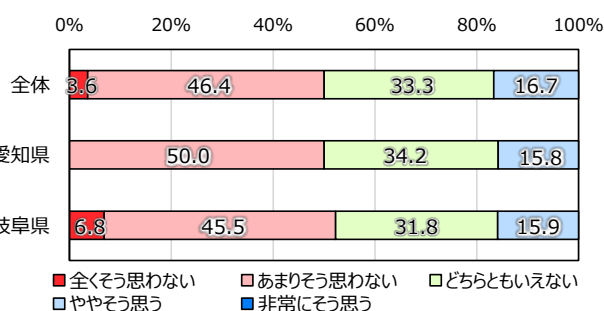
① トランプ関税政策に対し、取引先企業の間で警戒感が高まっている



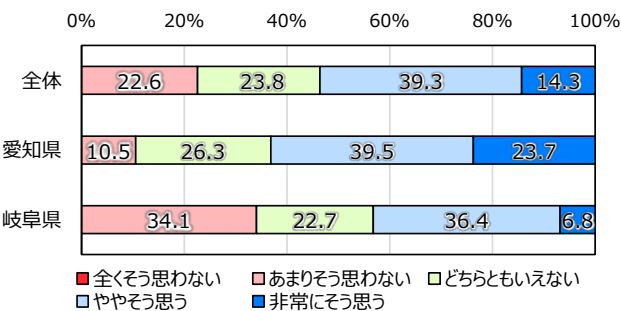
② 関税の影響を受ける業種から仕入価格や資金繰りの相談が増えている



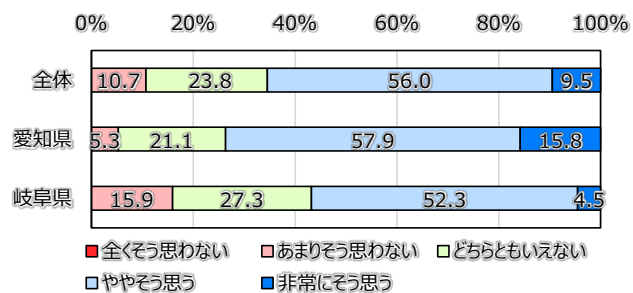
③ トランプ関税をきっかけに調達先見直しや経営戦略の再検討の動きが出てきている



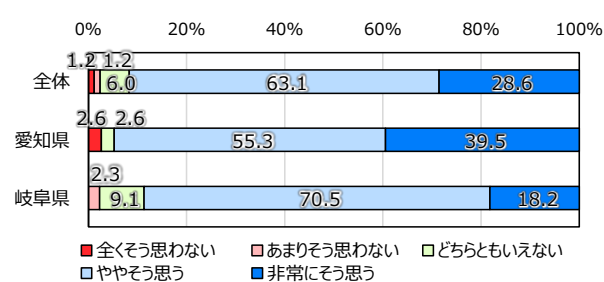
④ 米国向け輸出製品の受注・売上減少への懸念が高まっている



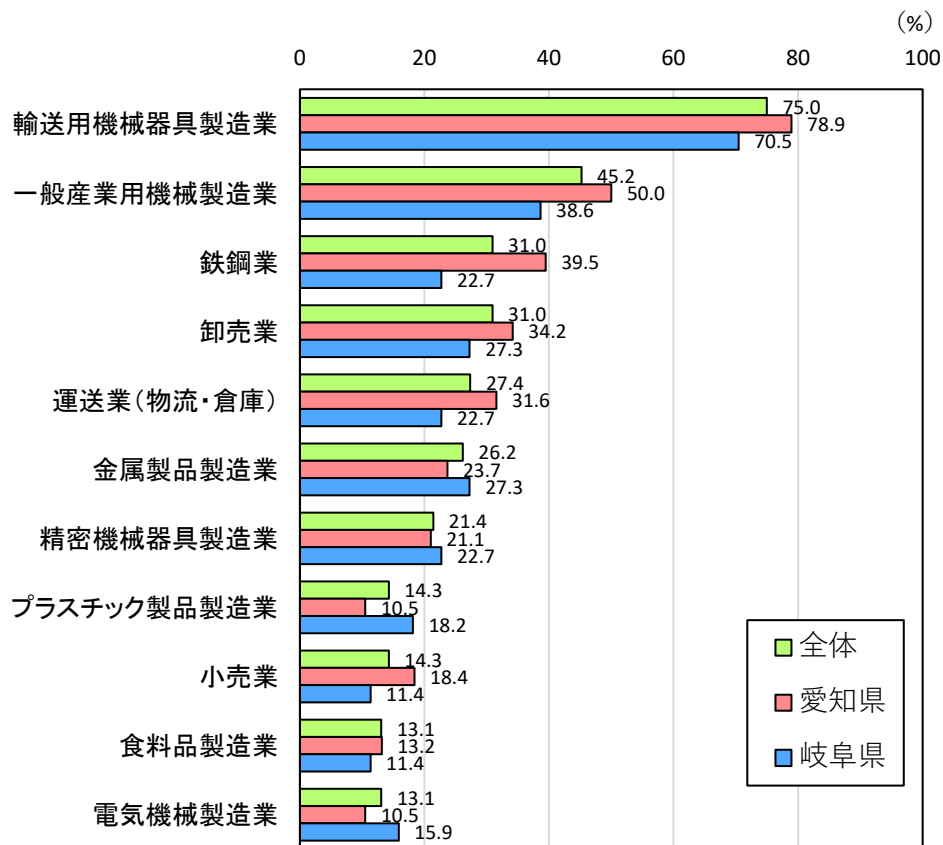
⑤ 米中貿易摩擦など国際情勢の変化により、調達コストや物流の不安が取引先企業の課題となりつつある



⑥ 今後のトランプ関税政策や国際情勢の変化は、地域経済に影響する懸念がある



⑦ エリア内で特にトランプ関税政策の影響を受けそうな業種（上位 10 業種）



「2025 年 9 月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2025 年 9 月末の相場予想の平均は、米国の利下げにより日米金利差が縮小し円高方向へ進むとの見方から、米ドル為替相場は 1 ドル = 143.92 円となった。
日経平均株価の予想平均は 38,029 円だった。

2025 年 9 月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は 1 ドル = 143.92 円、日経平均株価の予想平均は 38,029 円だった。米ドル為替相場は、米国の利下げにより日米金利差が縮小し円高方向へ進むとの見方から、「135 円超 150 円以下」を予想する声が多い。日経平均株価は、トランプ関税への警戒感が落ち着き株価が持ち直すとの見方から、「37,000 円超 40,000 円以下」を予想する声が多い。

2025年9月末の米ドル為替相場

円/ドル	割合
~160	0.9%
~155	6.5%
~150	29.9%
~145	29.9%
~140	27.1%
~135	4.7%
~130	0.9%

2025年9月末の米ドル為替相場 (円/ドル)

	全体	愛知	岐阜
平均値	143.92	144.44	143.52
最大値	160.00	153.00	160.00
最小値	130.00	130.00	135.00
最頻値	140.00	140.00	140.00
中央値	144.50	145.00	143.20

(ご参考)

2025年5月相場 (円/ドル)	
月中高値	148.64
月中安値	142.10
月末時点	144.04

出所：LSEG

・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・ トランプ関税の影響一服
・ 日銀の政策金利据え置き
・ 米国の利下げ観測の後退
・ 米国の減税措置

円高要因 (一部抜粋)
・ 米国の利下げ
・ 日米金利差の縮小
・ 米国債の格付引き下げ
・ 米国からの円安是正圧力

2025年9月末の日経平均株価

円	割合
~42,000	0.9%
~41,000	1.9%
~40,000	19.6%
~39,000	27.1%
~38,000	24.3%
~37,000	14.0%
~36,000	6.5%
~35,000	1.9%
~34,000	2.8%
~33,000	0.9%

2025年9月末の日経平均株価 (円)

	全体	愛知	岐阜
平均値	38,029	38,001	38,052
最大値	42,000	41,000	42,000
最小値	33,000	33,870	33,000
最頻値	38,000	38,000	39,500
中央値	38,000	38,000	38,350

(ご参考)

2025年5月相場 (円)	
月中高値	38,494.06
月中安値	36,040.05
月末時点	37,965.10

出所：LSEG

・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・ トランプ関税政策の落ち着き
・ 企業業績の堅調推移
・ 日銀の利上げ観測後退
・ 円安の進行

下落要因 (一部抜粋)
・ トランプ関税による輸出企業の収益悪化
・ 円高による輸出企業の収益悪化
・ 米国の通商政策等の不透明感
・ 世界的な景気冷え込み